

■「新春の寄席」 三遊亭楽生 師匠

“どケチ”の真髓、聴かせましょう「片棒」

【あらすじ】

爪に火をともして大身代を築いた赤螺屋吝兵衛（あかにしやけちべえ）さん、三人の息子のうちだれに身代を譲ろうかと悩みます。そこで、父親の葬式の出し方を聞いて決めることにしました。総領の金太郎は、金に糸目をつけず盛大な葬式にするといい、通夜は二晩、本葬も本願寺か増上寺、棺は緋白檀、会葬者 3000 人は一流の料理でもてなし、土産から車代まで出しましょう、と。それじゃ身代が潰れちまうと吝兵衛さんが言うと、金太郎は「借金をしてでも……」。次男の銀次郎は色っぽい葬式にしたいとのこと。弔行列の先頭は刺子半纏の頭(かしら)連中の木遣(きやり)で、新橋・芳町・柳橋の芸者の手古舞と続き、地味な着物に紺の前掛け、因業な顔をして算盤を持っている吝兵衛さんの人形の山車が出ます。そのまわりを神田囃子がテケテンテン、ヤ、テンスケテンテン、チヒーリチヒーリ、ピリ、ドンドン……「馬鹿野郎！」吝兵衛さんはかんかんになってしまいました。どいつもこいつも道楽息子だと嘆いているところへ、三男の鉄三郎が葬式は簡素に済ませるといので、吝兵衛さんは大喜び。それを聞いてみると父親以上、想像を絶するどケチぶり……。

【聴きどころ】

能天気な息子たちのはしゃぎっぷり、とくに銀次郎が神田囃子を擬音でまくし立てるくだりは爆笑ものです。

【もうひと言】

“赤螺”とは海にいる貝で、蓋が閉まるとなかなか開かないことから、一度握ったものは離さないケチな人を指す代名詞となりました。「片棒」と同類の噺に「味噌蔵」や「位牌屋」があります。演者によっては、赤螺屋吝兵衛をしわい屋吝右衛門とする場合もあります。

三遊亭 楽生 (さんゆうていらくしょう)

本 名：坪山 隆行 (つぼやま たかゆき)

生年月日：昭和 52 年 7 月 15 日

出身地：さいたま市

出 囃 子：元禄花見踊り前弾

紋：三組橋

芸 歴：1997 年 4 月、三遊亭楽太郎
(現・六代目三遊亭円楽)に入門。前座名「楽花生」
2001 年 3 月、同名のまま二つ目昇進
2008 年 3 月、「楽生」と名を改め真打昇進

初 高 座：日時 1997 年 6 月 6 日

演目 子ほめ

趣 味：中国語、旅行、ちょっと鉄道、路地裏歩き

自己PR：テレビ埼玉よろしくお願いします。

そ の 他：ブログ参照

三遊亭楽生の楽花生畑

<http://rakusho.jp/>



■ ニコニコ BOX

- 川島教昭様…皆様、長い間大変お世話になりました。
- 遠藤…新春、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。誕生祝いを受けて。楽生師匠、遠路お運び頂きありがとうございます。
- 前野、並木、山本、海翼、野口正夫、西川、川島治代、花光、青柳
…新年明けましておめでとうございます。本年も宜しく御願致します。
- 佐藤…昨年は大変お世話になりました。本年も宜しく御願致します。
- 津田…明けましておめでとうございます。今年も宜しく御願致します。誕生祝いを頂きました。ありがとうございます。
- 園川、阿部…結婚祝いを頂いて。
- 藤崎…本年も宜しく御願致します。楽生師匠、ありがとうございます。
- 花澤…新年明けましておめでとうございます。年賀状の返礼しない方、大変失礼致しました。
- 事務局森川…本年も千城ウインドシンフォニカを宜しく御願致します。

本日の出席	総 数	対象者	出 席	欠 席	出席率	ニコニコBOX	合 計	1月17日 (火) 「新入会員卓話」 米田純一郎 会員 真野匡章 会員 点鐘 12時30分 東天紅
	51 名	44 名	37 名	7 名	84.09 %		75,000 円	
前々回修正	メーキャップ			欠 席	出席率		累 計	
			1 名	2 名	97.95 %		820,000 円	